

# 第2次恵那市総合計画地域計画

自治区名	三郷地域自治区
------	---------

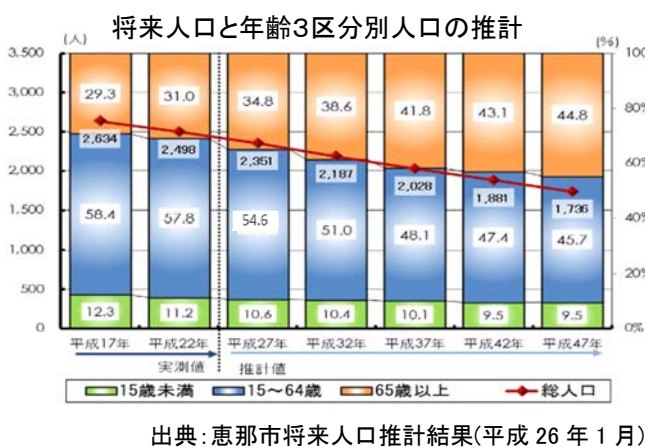
## 【地域の現状】

三郷町の人口は、かつて3,300人を超えていたが、平成22年国勢調査では2,498人、人口推計で平成37年には2,028人、平成47年には1,736人になり、高齢化率は、平成22年では31.0%だったのが平成37年には41.8%、平成47年には44.8%と予測されています。

急激な少子高齢化の進行、就労の場の不足などにより若者の流出、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加により、地域全体の活力低下が懸念されています。また、ライフスタイルやニーズが多様化し、地域内のつながりが希薄になりつつあります。

地域において課題を共有し、町民一人ひとりが身近なまちづくりを考え、それぞれの活動や団体・組織が有効にネットワーク化され、主体的に関わり合いを持つことにより、地域の魅力や個性を引き出すまちづくりに積極的に取り組んでいくことが求められています。また、まちづくりに対する理解や意識が十分に浸透していない面も見受けられます。

なお、最近の健康状況を国民健康保険特定健診結果から見ると、血糖値(ヘモグロビンA1c)の高い割合が市内で上位であり、BMI(肥満度)の基準値を超えている割合が市内平均と比較して高い状況となっているなど、健康への取り組みが課題となっています。



将来人口の推計 単位: 人

	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
総人口	2,634	2,498	2,351	2,187	2,028	1,881	1,736
65歳以上	771	774	819	845	847	811	778
15~64歳	1,539	1,443	1,282	1,115	977	891	793
15歳未満	324	281	250	227	204	179	165

※注 高齢化率とは、65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合のこと。

## 【キャッチフレーズ】

自然と景観を守り 人と人が支えあうまち  
～安心して住み続けられる三郷～

## 【目指すべき地域の姿(地域の全体構想)】

三郷町の美しい自然や景観は、ここで暮らす人びとが住み続け、それを守り育ててきた私たちの大切な宝です。この受け継がれてきた地域の宝をこれから先もみんなを活かして守り育てて、郷土を愛し、誇りに思う心を育み、文化や伝統を次世代に引き継いでいく必要があります。

少子高齢化により、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が増加する一方で、三世帯同居世帯が減少するなど、家族の支える力の低下や地域における連帯意識が希薄化してきており、行政によるサービスだけでは十分な対応が困難になりつつあります。人口減少に歯止めをかけるためにも行政と地域とが役割分担しながら、子どもからお年寄りまで地域に暮らす人びとが安全に安心して住み続けられるまちづくりを進めていく必要があります。

周辺には、JR武並駅や中央自動車道恵那ICがあり、中心市街地に比較的近く、田舎ではあるが、車があれば比較的便利な地域です。また、中津川市にはリニア中央新幹線岐阜駅や中部車両基地の建設の方針が公表されており、平成37年に東京—名古屋間の開業が予定されています。

この地の利を活かし、「住み続けたい」「帰ってきたい」「移り住みたい」と思える魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。

地域みんなが課題に関心を持ち、まちづくりを自ら提案し、自ら参加して、お互いに助け合い、協力しながら三郷町の自治力の強化を目指します。

行政ではできない、地域だからできる「人と人との支えあい」により、地域に暮らすみんなが生涯健幸で生き活きと安全に安心して住み続けられ、訪れる人に感動を与え、移り住みたくなるまちづくりを目指していきます。

## 【計画の柱(基本目標)】

三郷町の10年後の将来像を思い描き、その実現に向けたまちづくりの方向性を、3本の「計画の柱」としてまとめ、9つの「施策の項目」を設定しました。

### 1. 地域の景観・歴史・伝統・文化を活かすまち

地域の自然、歴史、文化などを背景にして、永年にわたり、人びとの日常生活の営みの中で、守り、創り、育まれてきた景観、歴史、伝統、文化を活かしたまちづくり。

### 2. 地域でともに支えあうまち

安全安心で暮らしやすく、未来を担う子どもたちを地域ぐるみで守り育てる。人と人同士がつながり支えあって、生涯を通じて生まれ育った地域で自立した生活ができるよう、健幸寿命の延伸に向け地域で支えるまちづくり。

### 3. 生き活きと住み続けたいまち

地域資源を活用して、人びとが住み続けたい、帰ってきたい、移り住みたいと思えるような魅力ある地域づくりを進め、地域で生き活きと暮らしていけるまちづくり。

## 【基本施策】

計画の柱1： 地域の景観・歴史・伝統・文化を活かすまち

### (1) 施策の項目 自然景観や農村景観の維持・再生

地域ぐるみで山や川などの自然が織りなす里山の景観やここで暮らす人びとの生

活のなかで育まれてきた農村の景観を守る取り組みをします。

(2) 施策の項目 **郷土を愛し、誇りに思う心を育む**

自分の生まれ育った地域に誇りと愛着を持ち続けられる取り組みをします。

(3) 施策の項目 **歴史・伝統・文化の伝承**

地域において育まれてきた自然、歴史、遺跡、伝統、文化に加え、家庭と地域の行事、風習、食文化などを次の世代へ継承する取り組みをします。

計画の柱2： **地域でともに支えあうまち**

(1) 施策の項目 **地域で支えあうまちづくり**

だれもが住みなれた地域で、生涯健幸で安心して暮らし続けられるように地域で支えあう取り組みをします。

(2) 施策の項目 **地域での子育て支援体制づくり**

子育て中の親や子が気軽に集い、遊びや語り合いながら子育ての悩みを気軽に話し合え「三郷で子供を産みたい」、「三郷で子育てしたい」と思えるような取り組みをします。

(3) 施策の項目 **安心して暮らせるまちづくり**

だれもが住みなれた地域で、安全に安心して、夢と希望を持って暮らせる取り組みをします。

計画の柱3： **生き活きと住み続けたいまち**

(1) 施策の項目 **人口減少対策の推進**

若者が生活基盤を確立して、夢や希望を持って人生設計ができる環境づくりや町外からの人を受け入れる態勢の充実、人材の育成・活用や交流の拠点づくりをして、定住促進及び少子化対策の取り組みをします。

(2) 施策の項目 **地域の自然や景観を活かした観光振興と地域ブランドの発掘**

地域資源を活用した観光振興と、他地域との違いを図りながら、地域イメージを高め地域の付加価値を上げるブランド化の取り組みをします。

(3) 施策の項目 **健康づくりの推進**

赤ちゃんからお年寄りまで、だれもが健康で生き活きと元気に暮らし続けられる取り組みをします。

## 【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱(基本目標)及び施策の項目
☆三郷 ☆武並	計画の柱 (2) 地域でともに支えあうまち 施策の項目 (1) 地域で支えあうまちづくり 計画の柱 (1) 地域が見守る福祉のまち 施策の項目 (2) 高齢者や体が不自由な方に優しいまち
取り組み内容(概念)	
◎(見出し) <b>住みなれた地域で安心して暮らし続けられる</b> (概要) 高齢者や体の不自由な方、妊婦など交通弱者の日常生活における移動手段の確保や公共交通空白地域の解消。生活必需品を入手するための買物支援などに取り組みます。両地域が連携することにより、効率的で利用者にとって魅力のあるサービスが提供できます。	

連携する地域	計画の柱(基本目標)及び施策の項目
☆三郷 ☆武並	計画の柱 (3) 生き活きと住み続けたいまち 施策の項目 (2) 地域の自然や景観を活かした観光振興と地域ブランドの発掘 計画の柱 (2) 人が行き交う交流のまち 施策の項目 (1) 地域資源の活用
取り組み内容(概念)	
◎(見出し) <b>農村景観や地域資源を活かしたおもてなし</b> (概要) 自然や景観などを求めて都会から農村を訪れる人達の疲れを癒し、心と体をリフレッシュさせる環境づくりに取り組みます。両地域が連携して、賑わいのあるまちづくりを推進します。	

連携する地域	計画の柱(基本目標)及び施策の項目
☆三郷 ☆武並	計画の柱 (3) 生き活きと住み続けたいまち 施策の項目 (3) 健康づくりの推進 計画の柱 (1) 地域が見守る福祉のまち 施策の項目 (3) 笑顔で住み続けられるまち
取り組み内容(概念)	
◎(見出し) <b>ここに住んでよかったと思えるまちづくり</b> (概要) 赤ちゃんからお年寄りまで、だれもが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。両地域が連携して健康づくりやふれあいを楽しめるようなイベントなどを開催することにより、魅力ある生活圏を創ります。	

【全市的な共通課題への取り組み提案】

提案事項	
分野	内 容
健康・福祉	<p><b>(1)地域巡回バスの整備</b></p> <p>お年寄りや体の不自由な方、妊婦など交通弱者の方々が市内福祉施設などをより利用しやすくするために、そして買い物や駅などに向かう交通手段としても利用できるような運行が必要です。</p>
生活環境	<p><b>(1)瑞浪恵那道路、JR 武並駅へのアクセス道路網の整備及びJR 武並駅周辺整備</b></p> <p>瑞浪恵那道路の開通やリニア中央新幹線が開業される見通しとなっています。また、新たに恵那西工業団地の開発が計画されています。このようなことから、三郷地域から JR 武並駅を含めた道路アクセスなどの条件整備や交通利便性、歩行者などの安全確保が必要です。また、JR 武並駅につきましては、駅利用者の利便性と安全性向上のために駐車場整備などが必要です。</p> <p><b>(2)農業振興地域からの除外要件の緩和措置</b></p> <p>地域の維持・活性化を図るために住宅地などへの転用をする場合の要件を緩和するように国に働きかけを行うことが必要です。</p> <p><b>(3)身近な公園の整備</b></p> <p>市民が潤いとやすらぎのある生活を送れるよう、また、安全かつ快適に生活ができるよう、地域の特性を活かし、地域住民が身近で気軽に利用できる公園の整備が必要です。</p> <p><b>(4)消防団員の活動環境整備</b></p> <p>若者の減少などの要因により団員の確保が難しくなっており、より入団しやすい環境を整える取り組みが必要です。</p> <p><b>(5)庄内川源流をはじめ水辺環境の整備</b></p> <p>豊かな自然と調和したまちとするために、山林や河川などの自然環境を保全するとともに、親水空間の整備を通じて、市民や来訪者が身近に自然にふれあえる環境づくりが必要です。</p> <p><b>(6)市有財産の有効活用</b></p> <p>未利用や余裕の市有財産を有効に活用し、多様な人材の育成・活用や産業活動、市民の様々な活動の拠点づくり、定住促進などの利活用が必要です。</p>

都市・交流  
基盤

### (1)生活道路網の整備

一本の道しかなく迂回できる道路がないところや、生活道路は幅員が狭い路線も残っており、火災や救急、災害などの緊急時の対応や日常生活における安全確保のため拡幅整備や交通安全施設の設置、危険交差点の改善などを計画的に進め、通学路などは歩行者の安全対策の強化が必要です。

産業振興

### (1) 若者やU J I ターン者に魅力ある就労の場の確保

少子化と都市部への人口流出などにより過疎化が進む中、若年層の人口流出が顕著となっています。若年層の定住化を図るために若者に魅力ある就労の場の確保が必要です。

### (2)道の駅を災害時に対応できる防災機能の充実

災害発生時に「道の駅」が、避難所、復旧活動の支援拠点、災害情報の提供などの活用ができるよう、飲料水の給水タンクや自家発電、防災ヘリポート、E V車充電スタンドなど周辺を含めて防災機能の充実・強化が必要です。

### (3)地産地消の促進

道の駅などを活用した直売所や加工所の取り組みなどを通して、地域における6次産業化や活性化につながるものとして、地産地消の取り組みが必要です。また、らっせいみさとは来客用駐車場が不足するなどしており、再整備が必要です。

### (4)企業誘致・支援の拡充

近くに店がなく、食料品や日用品などの購入がままならないことが深刻な問題となっていますので、買物弱者支援としてコンビニエンスストアなどを誘致して地域で購入できるような取り組みが必要です。

教育・文化

### (1)ふるさと教育の推進

自分の生まれ育った地域に誇りと愛着を持ち続けられるよう地域には、まだ知らないことがたくさんあることに気付かせる。また、地域の行事に積極的に参加するなどのふるさと教育を進めることが必要です。

### (2)仕事と子育ての両立のための整備

育児休暇明けの職場復帰や就職活動のため、未満児の一時保育を希望される方が増えていることから、仕事と子育ての両立のために全てのこども園で受け入れできるようにすることが必要です。